

**学部・研究科等の研究に関する現況分析結果**

1. 医学部・医学系研究科

研究 1-1



**医学部・医学系研究科**

|    |       |       |        |
|----|-------|-------|--------|
| I  | 研究水準  | ..... | 研究 1-2 |
| II | 質の向上度 | ..... | 研究 1-2 |

## I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

### 1. 研究活動の状況

期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究活動の実施状況については、学長のリーダーシップの下に5つの研究領域を独自に定め、その研究活動の現況は、国際的にも評価できる高い水準を維持している。また、地域貢献に関しても積極的に各種支援事業を実施しているとともに、国際共同研究、産官学連携活動も活発に実施している。研究資金の獲得状況については、上記の研究活動の結果、各種外部資金の獲得も順調に増加していることなどは、優れた成果である。

以上の点について、医学部・医学系研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、医学部・医学系研究科が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

### 2. 研究成果の状況

期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究成果の状況」について、学術面では、独自に定めた5つの研究領域において多くの先端的、国際的研究成果が生まれている。優れた研究成果としては、例えば、ナノ粒子を利用した分子イメージングの開発、カニクイザルの体細胞クローンの作成等を挙げることができる。社会、経済、文化面では、生体透視下で実施する次世代手術システムの開発や、先進医療としての糖尿病性足病変の非侵襲的診断法等の成果を上げていることは、優れた成果である。

以上の点について、医学部・医学系研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、医学部・医学系研究科が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

## II 質の向上度

## 1. 質の向上度

### 相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は5件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。

